

中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画 (素案)

平成25年■月

兵 庫 県

はじめに

中播磨地域には、「播磨五川*」で、加古川に次ぐ本川延長を誇る市川や夢前川をはじめ、江戸時代、高瀬舟により物資を輸送する重要な役割を果たした船場川など9つの水系があり、地域に恵みとうるおいをもたらすとともに、人々の生活を支えてきた。

これら河川は、平時は穏やかで人々に親しまれる施設であるが、一旦増水し氾濫でもすると、その姿は豹変し、人々の生活や地域の社会経済活動に大きな影響を与えてしまう。

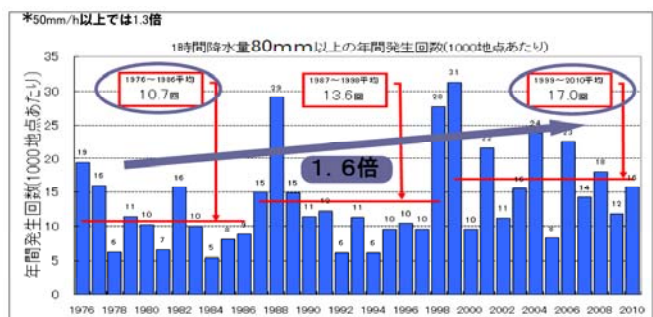
特に、近年では、予測できない集中豪雨いわゆるゲリラ豪雨が頻発し、全国的にも30年前と比較すると、猛烈な雨(80mm/h以上)が降る回数が、約1.6倍に増加している。

中播磨地域においても、平成23年9月の台風12号により、各所で床上・床下などの浸水被害が発生し、姫路市内においては、約10万人に対して避難勧告が発令され、広範囲に多大な影響が生じるなど、従来の治水対策だけで対応することは困難となっている。

このため、県では、平成24年4月、全国に先駆け、浸水の発生を抑制し被害を軽減することを目的に「総合治水条例」を施行し、これまでの「ながす」河川下水道対策はもとより、校庭や公園での雨水貯留等の「ためる」流域対策や、浸水ハザードマップ・氾濫予測等の情報提供など「そなえる」減災対策を、県・市町・県民が協働して取り組む「総合治水」を推進していくこととした。

本計画は、「総合治水条例」第6条及び第7条に基づき、市町の長、住民の代表、学識経験者、県で構成する協議会を設置し、中播磨地域における総合治水の基本的な目標、推進に関する基本的な方針、河川下水道対策、流域対策、減災対策等についてとりまとめたものである。

本計画については、計画目標を概ね10年間とし、その中で、各取組みの進捗状況の把握、地域ニーズへの対応等の観点から適宜、計画の見直しを行っていくこととしている。



1時間降水量80mm以上の年間発生回数
(1000地点あたり)

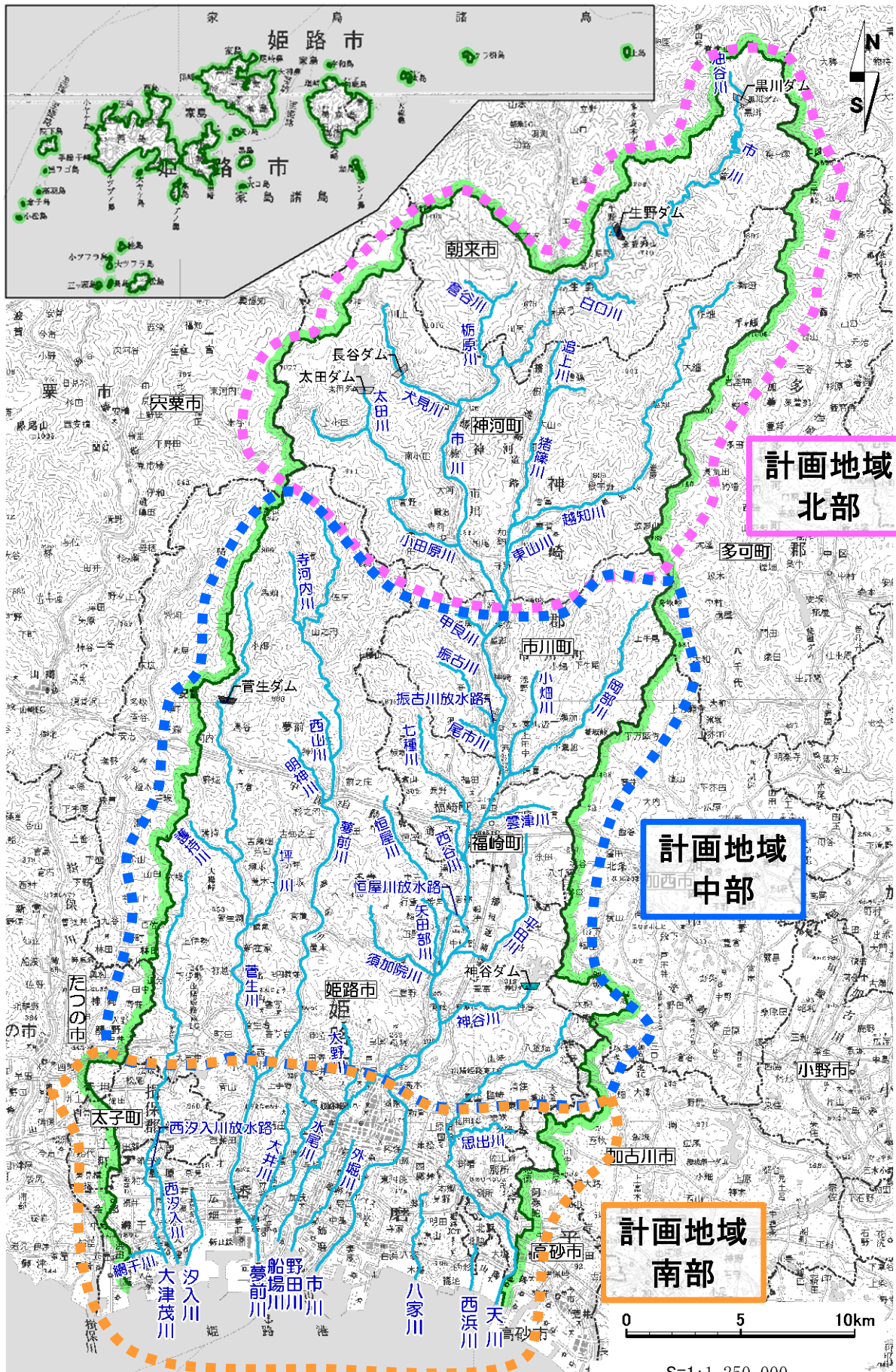


平成23年台風12号浸水状況写真

* : 「播磨五川」とは、播磨灘に流入する川のうち主に大きな5つの川のこと(加古川、市川、夢前川、揖保川、千種川)

地域総合治水推進計画 目次

1. 計画地域の概要	1
1-1. 計画地域の概要	1
1-2. 洪水被害の発生状況	13
1-3. 河川・下水道の整備状況と課題	24
2. 総合治水の基本的な目標	41
2-1. 計画地域	41
2-2. 計画期間	41
2-3. 基本目標	41
3. 総合治水の推進に関する基本的な方針	43
3-1. 全般	43
3-2. 河川・下水道対策	43
3-3. 流域対策	46
3-4. 減災対策	48
4. 河川下水道対策	50
4-1. 河川の整備及び維持	50
4-2. 下水道の整備及び維持	57
5. 流域対策	58
5-1. 調整池の設置及び保全	58
5-2. 土地等の雨水貯留浸透機能	62
5-3. 貯水施設の雨水貯留容量の確保	83
5-4. ポンプ施設との調整	86
5-5. 遊水機能の維持	89
5-6. 森林の整備及び保全	90
6. 減災対策	93
6-1. 浸水が想定される区域の指定	93
6-2. 県民の情報の把握	97
6-3. 浸水による被害の発生に係る情報の伝達	97
6-4. 浸水による被害の軽減に関する学習	111
6-5. 浸水による被害の軽減のための体制の整備	115
6-6. 訓練の実施	121
6-7. 建物等の耐水機能	122
6-8. 浸水による被害からの早期の生活の再建	123
7. 環境の保全と創造への配慮	124
7-1. 河川環境に配慮した河道改修や連続性の確保	124
7-2. 参画と協働による川づくり	125
7-3. 森林環境の保全	125
7-4. 水田・ため池環境の保全	125
8. 総合治水を推進するにあたって必要な事項	126
8-1. 県民相互の連携	126
8-2. 関係者相互の連携	126
8-3. 財源の確保	126
8-4. 計画の見直しについて	126



計画地域区域図

1. 計画地域の概要

1-1. 計画地域の概要

(1) 計画地域の概要

中播磨地域（市川流域圏）（以下、「計画地域」という）は、天川流域、西浜川流域、八家川流域、市川流域、野田川流域、船場川流域、夢前川流域、汐入川流域、大津茂川流域等で構成され、主に姫路市、高砂市、朝来市、市川町、福崎町、太子町、神河町の3市4町にまたがる地域であり、総人口約59.5万人（平成22年10月現在）、面積は、約907km²で県土全体の10.8%を占めている。

計画対象河川一覧

対象河川		法河川延長 (km)	流域面積 (km ²) ※1	関係市町 ※2
水系	河川			
天川	天川 (あまかわ)	18720	50.3	姫路市、高砂市
	思出川 (おもいでがわ)	3233		
西浜川	西浜川 (にしはまがわ)	1.941	4.7	姫路市、高砂市
八家川	八家川 (やかがわ)	4.480	12.8	姫路市
市川	市川 (いちかわ)	77.554	506	姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市
	神谷川 (こたにがわ)	5.295		
	須加院川 (すかいんがわ)	5.160		
	恒屋川 (つねやがわ)	9.190		
	恒屋川放水路 (つねやがわほうすいろ)	0.533		
	矢田部川 (やたべがわ)	3.690		
	平田川 (ひらたがわ)	7.840		
	西谷川 (にしたにがわ)	2.900		
	七種川 (なぐさがわ)	6.682		
	雲津川 (くもすがわ)	3.020		
	岡部川 (おかべがわ)	11.235		
	小畑川 (おぼたがわ)	5.045		
	尾市川 (おいちがわ)	1.875		
	振古川 (ふりこがわ)	4.355		
	振古川放水路 (ふりこがわほうすいろ)	0.173		
	甲良川 (こうらがわ)	1.590		
	越知川 (おちがわ)	22.460		
	東山川 (ひがしやまがわ)	2.090		
	猪篠川 (いざさがわ)	8.082		
	追上川 (おいあげがわ)	2.650		
	小田原川 (おだわらがわ)	12.100		
	太田川 (おおたがわ)	5.315		
	犬見川 (いぬみがわ)	6.921		
	栃原川 (とちはらがわ)	5.709		
倉谷川 (くらたにがわ)	1.487			
白口川 (しらくちがわ)	3.695			
油谷川 (あぶらたにがわ)	1.386			
野田川	野田川 (のだがわ)	3.635	7.1	姫路市
	外堀川 (そとほりがわ)	2.663		
船場川	船場川 (せんばがわ)	11.572	18.2	姫路市
	大野川 (おおのがわ)	3.948		
夢前川	夢前川 (ゆめさきがわ)	39.667	202	姫路市
	水尾川 (みずおがわ)	8.850		
	大井川 (おおいがわ)	4.000		
	菅生川 (すごうがわ)	24.738		
	坪川 (つぼかわ)	5.180		
	護持川 (ごじがわ)	3.258		
	明神川 (みょうじんがわ)	3.483		
	西山川 (にしやまがわ)	2.443		
	寺河内川 (てらこうちがわ)	3.796		
汐入川	汐入川 (しおいりがわ)	3.380	6.4	姫路市
大津茂川	大津茂川 (おおつもがわ)	18.608	54.3	姫路市、太子町
	西汐入川放水路 (にししおいりがわほうすいろ)	0.323		
	西汐入川 (にししおいりがわ)	5.118		
	網干川 (あほしがわ)	1.566		

※1：100km²以上は、整数止め、100km²未満は小数第1位で表示

※2：法定河川区間が含まれている市町

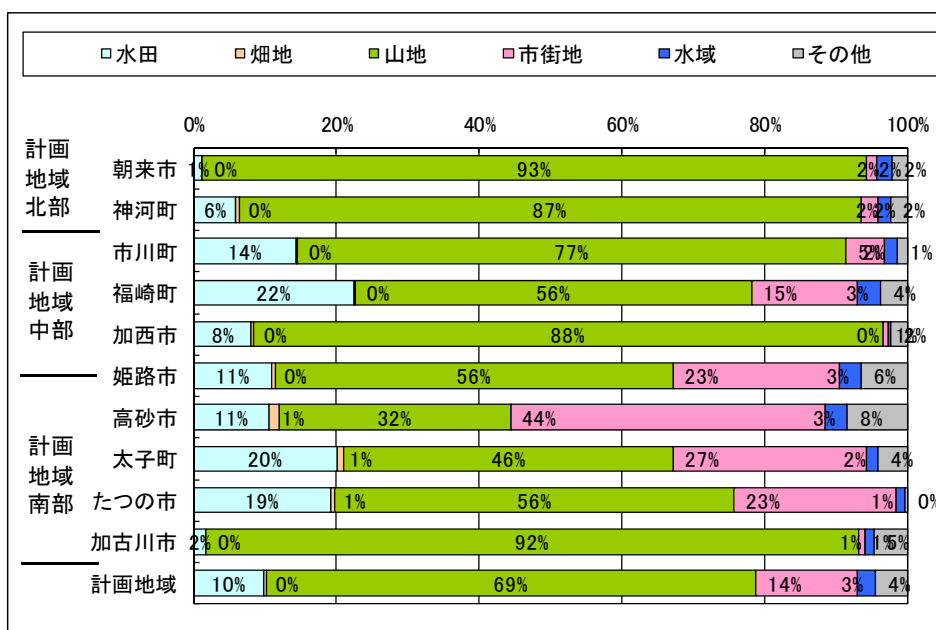
(2) 土地利用・地形

計画地域の大部分は、山地や農地となっている一方で、南部の臨海部は播磨工業地帯を形成する等、市街地が占めており、美しい自然やたくましい産業活動にあふれる色彩豊かな地域となっている。

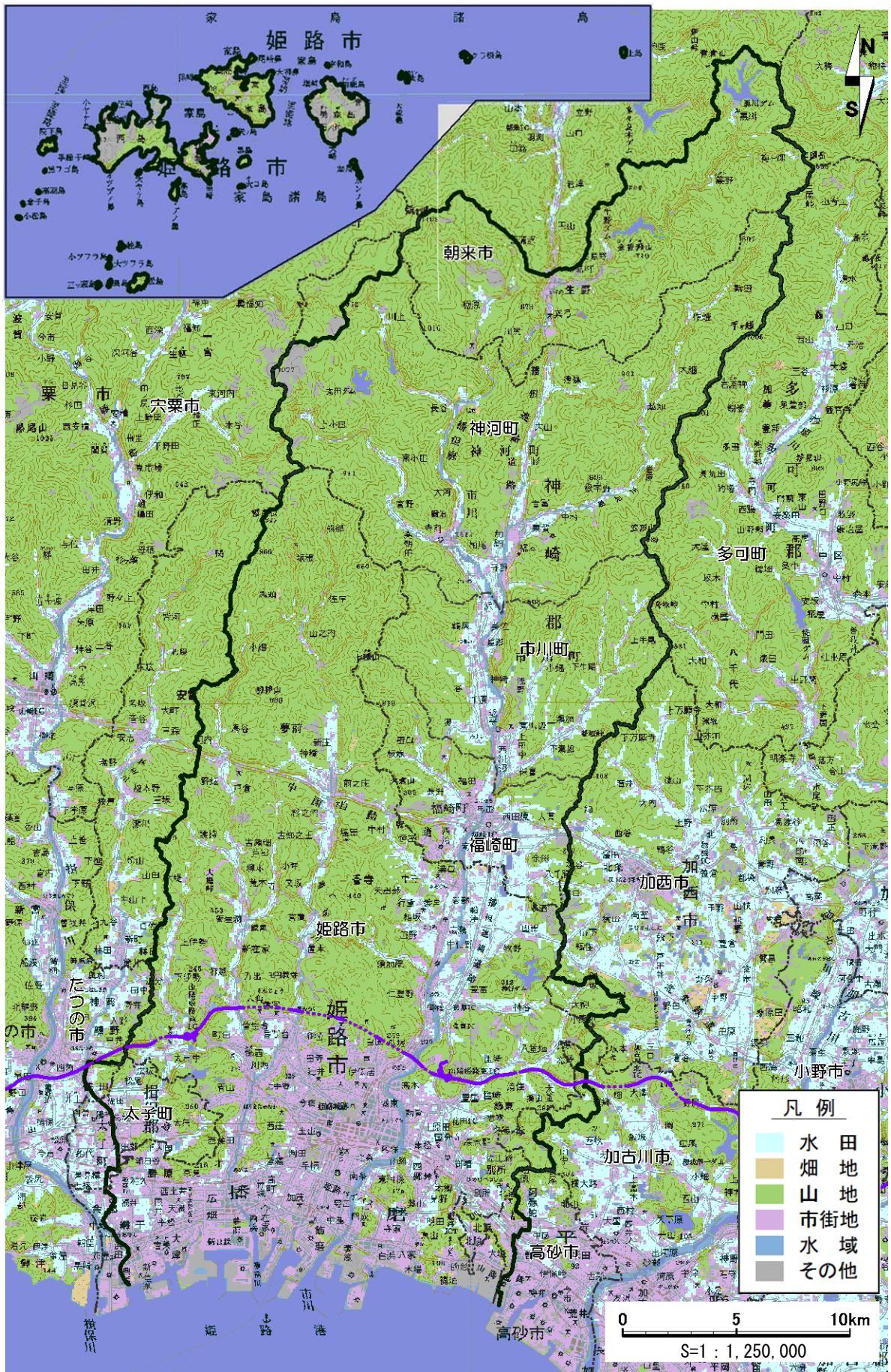
計画地域内には、国道 2 号、中国自動車道、山陽自動車道などの幹線道路や、JR 山陽新幹線、JR 山陽本線、山陽電鉄などの鉄道が東西に延びている他、播但連絡道、JR 播但線が南北を結んでいる。また、河口部の姫路港は国際拠点港湾に指定されており、海運交通の要衝となっている。

計画地域内の土地利用別面積

市町名	計画地域内の土地利用別面積 (km ²)						合計
	水田	畑地	山地	市街地	水域	その他	
朝来市	1.2	0.0	96.0	1.6	2.1	2.3	103.2
神河町	11.4	0.8	168.0	4.7	3.3	4.5	192.7
市川町	11.9	0.1	63.5	4.4	1.6	1.1	82.7
福崎町	10.4	0.1	25.6	6.8	1.6	1.7	46.1
加西市	0.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.1	4.3
姫路市	49.1	2.1	250.5	104.6	13.9	29.0	449.3
高砂市	0.5	0.1	1.6	2.2	0.2	0.4	5.0
太子町	3.2	0.2	7.3	4.2	0.3	0.6	15.7
たつの市	0.3	0.0	1.0	0.4	0.0	0.0	1.7
加古川市	0.1	0.0	5.8	0.1	0.1	0.3	6.4
合計	88.4	3.4	623.2	129.1	23.0	40.1	907.1

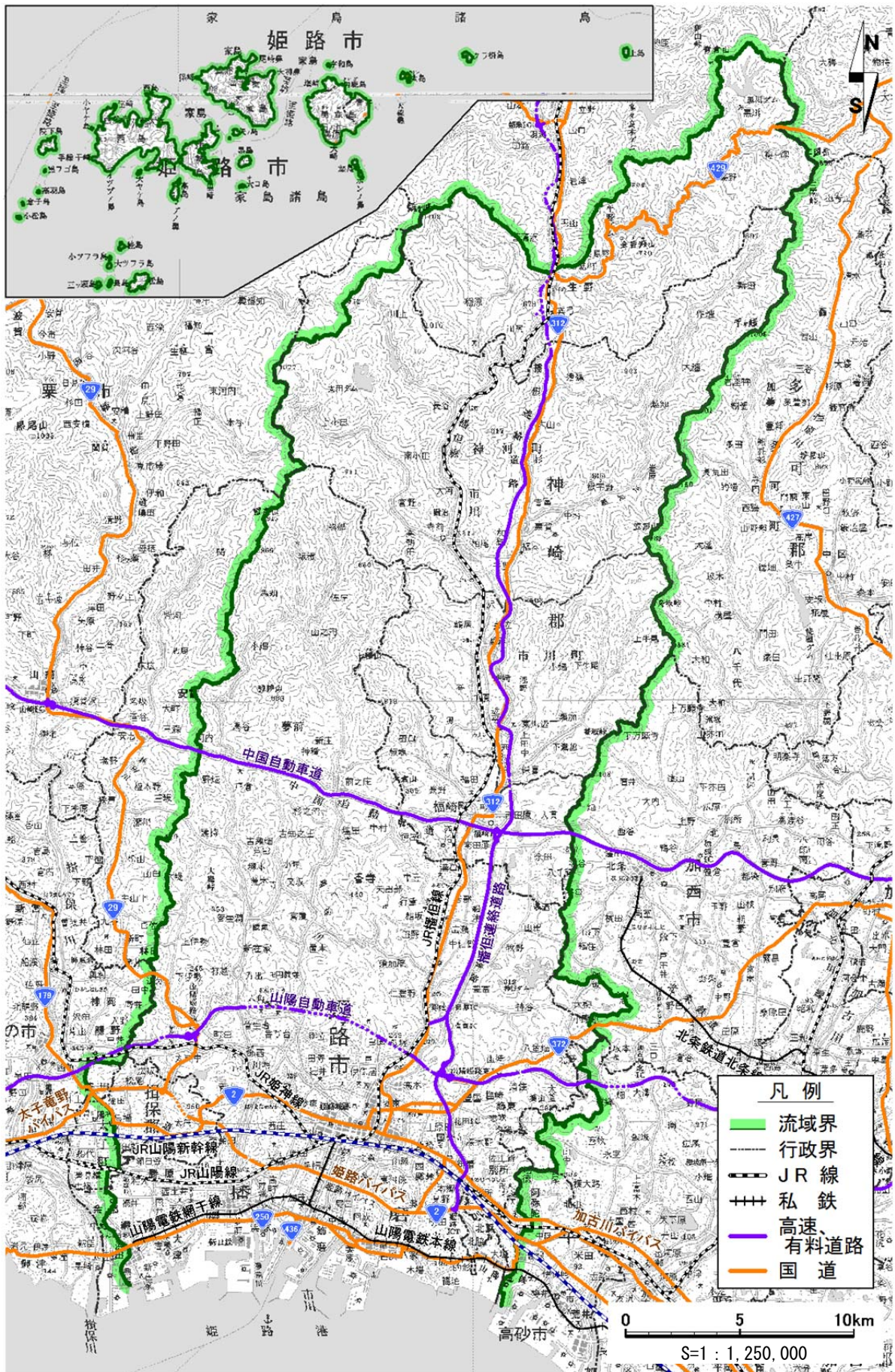


土地利用割合 (平成 21 年)

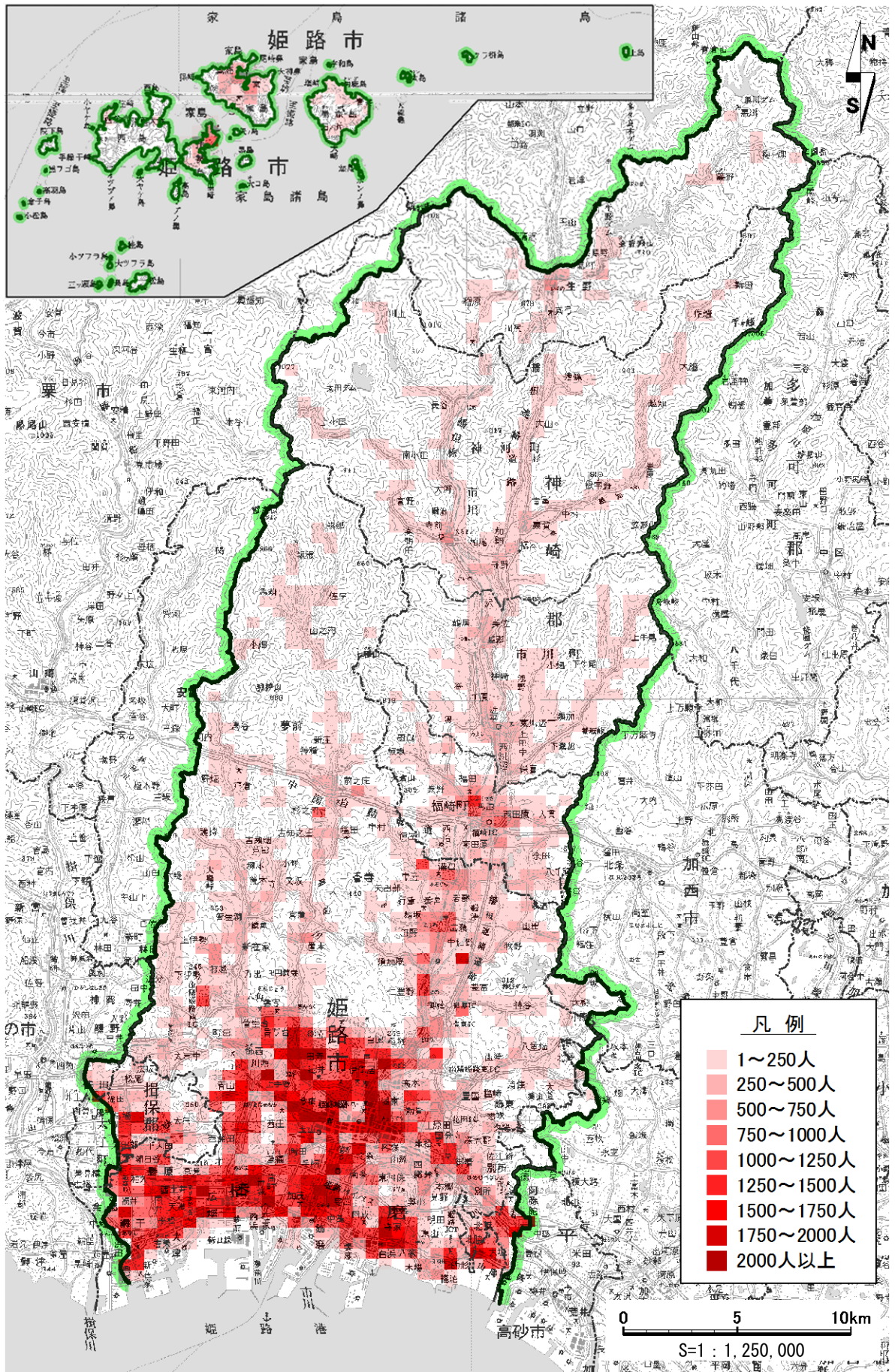


出典：国土数値情報 土地利用データ平成21年

土地利用分布図



交通網図



出典：平成22年国勢調査 世界測地系500mメッシュ

人口分布図

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

地形は、標高 800m～1,000m 級の山地が連なる急峻な山岳地形からなり、川沿いに狭い谷底平野が見られる。地質は、主に中世白亜紀後期の火山活動により造られた堅硬な流紋岩類（生野層群）により形成される。



市川 長谷橋
神崎郡神河町栗付近

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部¹⁾、加西市）】

地形は、標高 200m～500m 程度の小起伏山地および丘陵地形と礫岩・砂岩などが堆積した谷底平野からなる。地質は、主に中・古生代に堆積したものが固結した堆積岩類（丹波帯）より形成される。



市川 江鮎頭首工
姫路市豊富町豊富付近

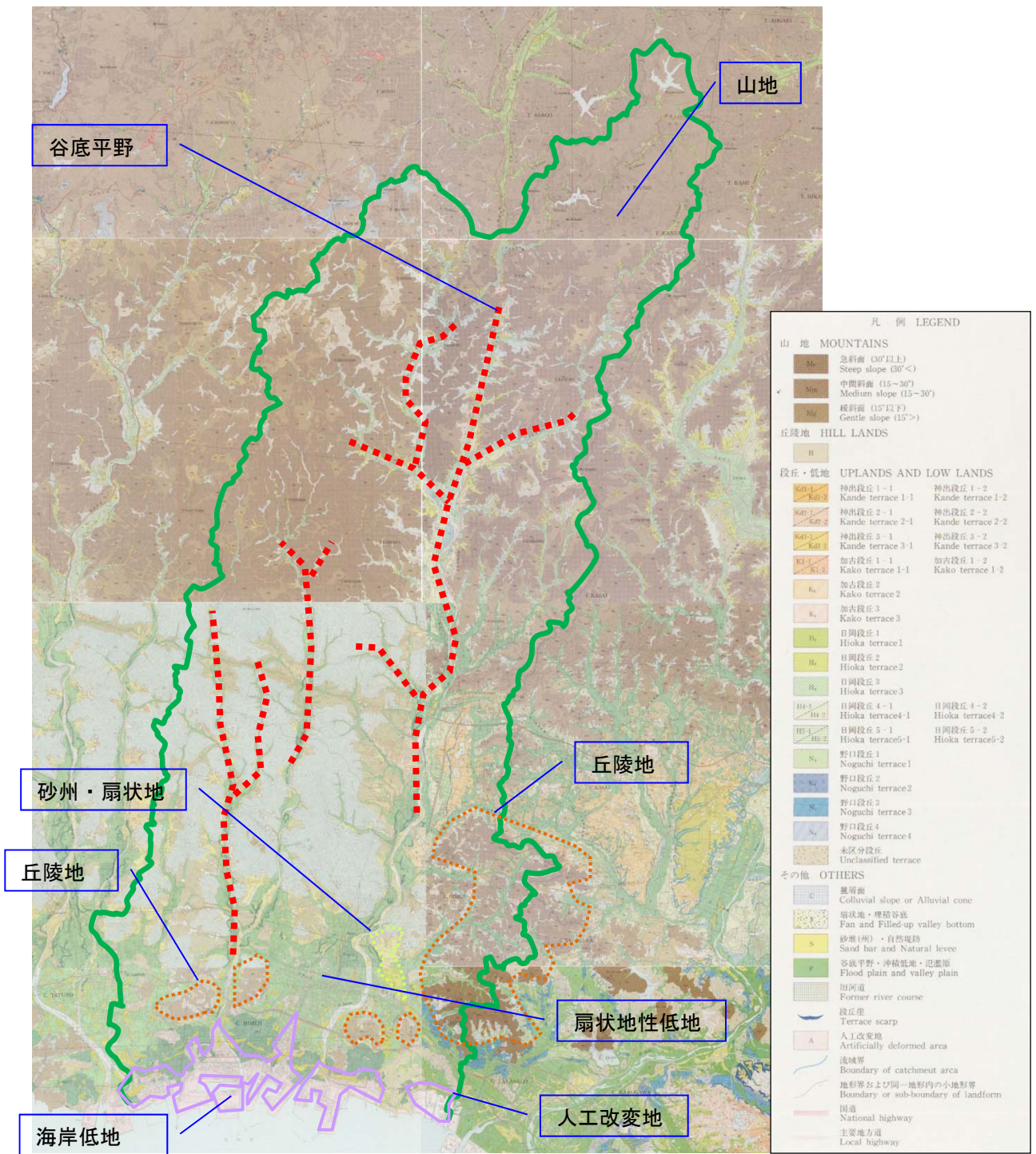
【計画地域：南部（姫路市南部²⁾、高砂市、太子町、たつの市、加古川市）】

地形は、市川や夢前川などの河川から運搬された土砂が堆積した扇状地と河口部のデルタ地形で、地形の一部に大起伏丘陵地が見られる。地質は、主に扇状地には、砂礫、デルタ地形は砂、粘土などで形成されている。大起伏丘陵地は相生層群により形成。海沿いの河口部は、埋立地となっているが、姫路市大塩町～網干間にあった古い海岸砂州の名残（現在の国道 250 号付近）も見られる。



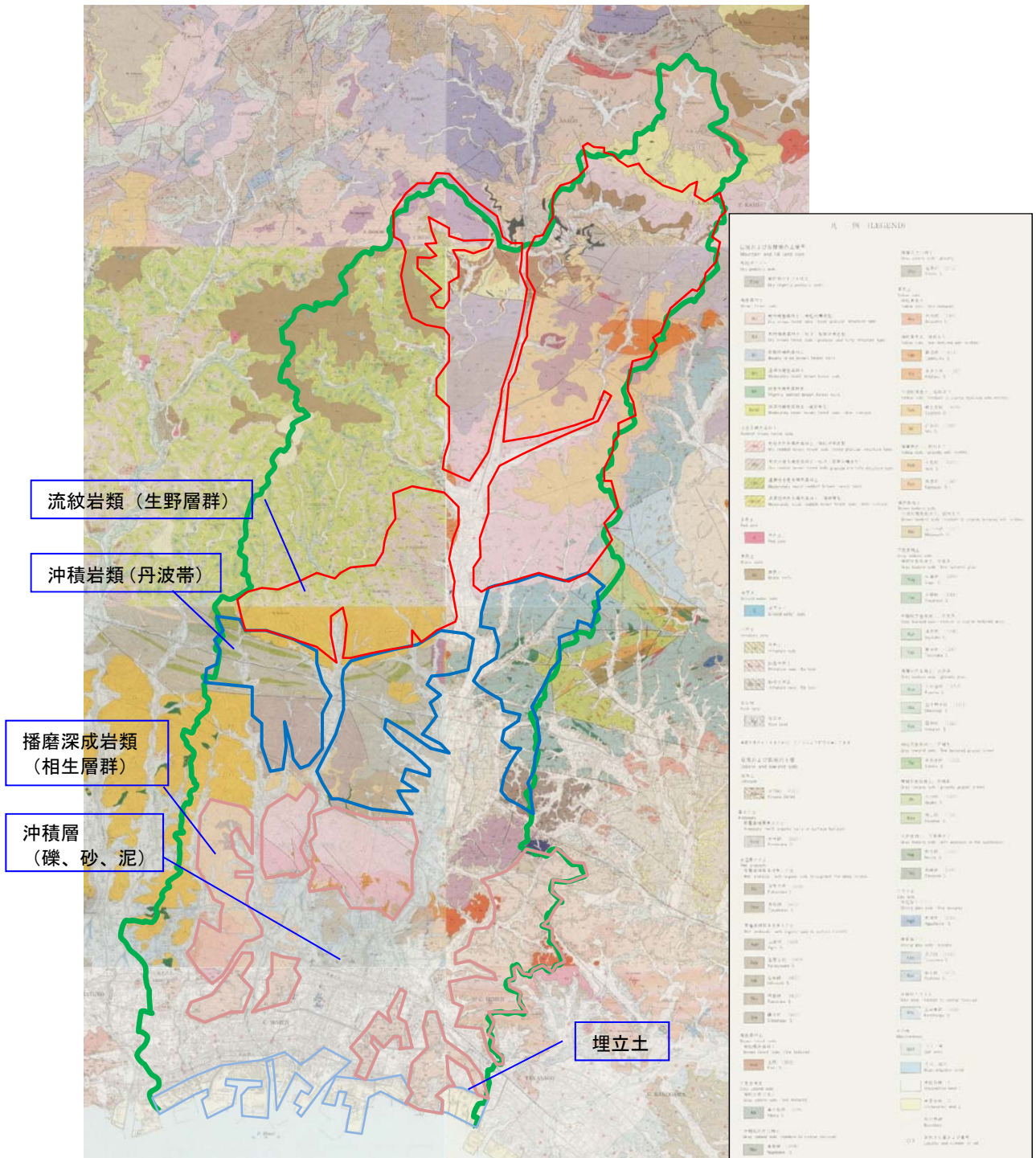
市川 小川橋
姫路市花田町高木付近

1) 姫路市北部：山陽自動車道より北に位置するエリア
2) 姫路市南部：山陽自動車道より南に位置するエリア



出典：1/50000土地分類基本調査 地形分類図（国土交通省 国土政策局 国土情報課HP）

地形図



出典：1/50000土地分類基本調査 表層地質図（国土交通省 国土政策局 国土情報課HP）
地質図

(3) 気候

気候は、北部山間地の内陸気候地域と、中・南部の瀬戸内海気候地域に大きく二分される。

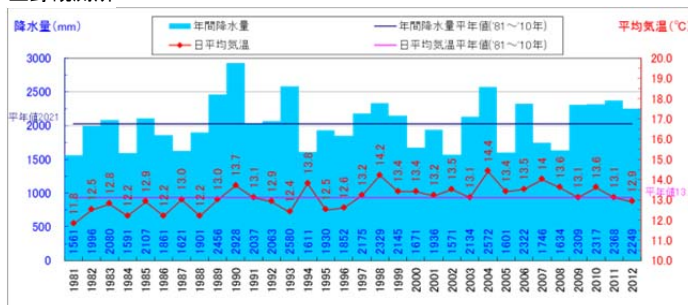
年平均気温は、計画地域北部の生野観測所で約 13.1℃（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域中部の福崎観測所で約 14.8℃（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域南部の姫路観測所で約 15.2℃（1981 年～2010 年の平年値）と、計画地域中・南部は計画地域北部に比べてやや高く温暖である。

年間降水量は、計画地域北部の生野観測所で約 2,000mm（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域中部の福崎観測所で約 1,400mm（1981 年～2010 年の平年値）、計画地域南部の姫路観測所で約 1,200mm（1981 年～2010 年の平年値）と、計画地域中・南部は北部に比べて少なく、全国平均の 1,700mm を下回っている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

計画地域北部の生野観測所において、年平均気温は約 13.1℃（1981 年～2010 年の平年値）、年間降水量が約 2,000mm（1981 年～2010 年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を全国平均を上回っている。

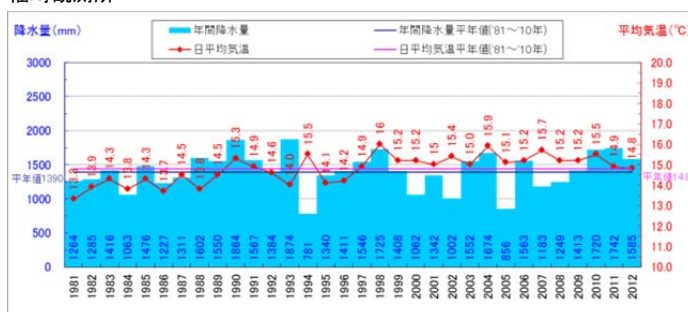
生野観測所



【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市）】

計画地域中部の福崎観測所において、年平均気温は約 14.8℃（1981 年～2010 年の平年値）、年間降水量は約 1,400mm（1981 年～2010 年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

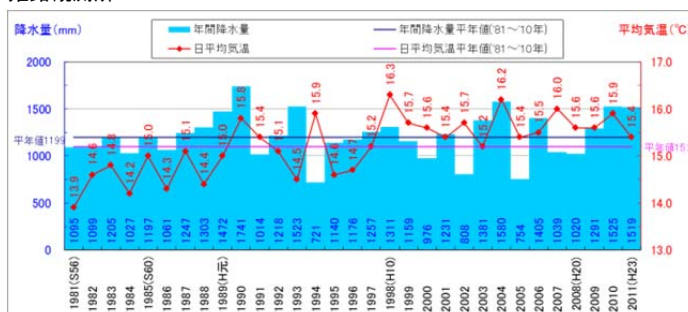
福崎観測所



【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市、加古川市）】

計画地域南部の姫路観測所において、年平均気温は約 15.2℃（1981 年～2010 年の平年値）、年間降水量は約 1,200mm（1981 年～2010 年の平年値）と全国平均の約 1,700mm を下回っている。

姫路観測所



年間降水量・平均気温

出典：気象庁HP

(4) 自然環境

計画地域では、山地部や丘陵部に良好な自然環境が残されており、貴重な生態系が保全されている。

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

植生は、山地には主にスギ・ヒノキ植林地、コナラ群落が広がる。また、雪彦峰山県立自然公園にはクヌギ、ナラなどの広葉樹が広がり、河畔にはエノキームクノキ群集などの夏緑林、スギ・ヒノキ植林地がみられ、河道にはツルヨシ群集が広い範囲にみられる。また、市川流域には、河道内にフサナキリスゲ[※]等も見られる。

魚類については、自然の河床形態が残り、流れは急で、アマゴ[※]、アユ、ウグイなど、清水を好む魚類の生息域となっている。

底生動物については、渓流域では、カゲロウ類やトビケラ類が生息する。

鳥類については、林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ[※]がみられる。また、市川流域の一部が仁寿山鳥獣保護区に指定されており、オオタカ、チョウゲンボウなどの猛禽類やキジが生息している。また、水辺を利用するイワツバメ、ヤマセミ[※]、カワガラスがみられる。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市）】

植生は、河畔には竹林、ササ類が広がる箇所もみることができる。河道内の砂州上では広い範囲でツルヨシ群集が形成されている。また、カワヂシャ、ミゾコウジュが確認されている。水際にはミゾソバ群落、河岸にはカナムグラアキノノゲシ群落やクス群落がみられる。夢前川流域の特徴として、高水敷が整備され、芝が張られている。市川流域では、出水による攪乱で成立した「丸石河原」と呼ばれる礫河原には、カワラハハコ[※]等が生育している。

魚類については、瀬と淵のほか、堰による湛水域があり、瀬ではアユやカワヨシノボリが生息し、また淵や堰の湛水域にはシマドジョウ、コイ、フナ類が、生息する。また、夢前川流域の特徴として、瀬と淵が連続し、アカザ[※]やカジカ[※]生息する。

底生動物については、砂礫底にはホンサナエ[※]などのヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタル[※]の幼虫などが生息する。また、市川流域では、モクズガニ等が生息し、中流から下流のワンド・たまり等の止水域では二枚貝類等がみられる。

鳥類については、モズ、ホオジロなどが草地を採餌場として利用するほか、砂州の裸地はチドリ類が営巣場としている。また、サギ類が流水部で採餌したり、カモ類が水面で休息するなどの姿がみられる。夢前川流域の林地や林縁部を生息場とするヤマガラや水辺を利用するカワセミ[※]がみられる。また猛禽類ではミサゴ[※]、ハイタカ[※]が確認されている。

※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドリスト 2010(植物・植物群落)」

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市、加古川市）】

植生は、河道内の砂州や河岸には、ツルヨシ、オギの群落が見られる。また夢前川流域では、カワヂジャ[※]、ミゾコウジュ[※]が確認されている。下流域では、ネズミムギ、セイタカアワダチソウ等の外来種が広い範囲で生育している。河口には塩性湿地に特徴的なヨシ、シオクグや、アイシン[※]の群落が見られる。また、西浜川流域の山沿いの一部に貴重種であるノジギクが自生している。八家川流域も同様に自然海岸の小赤壁には、ウバメガシの自然林やノジギクの自生地など貴重な自然がある。市川流域の下流には中洲が発達し、ヤナギ林や外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。三角州でも、セイタカアワダチソウが見られる。船場川流域では、計画地域全体に外来種であるセイタカアワダチソウが見られる。大津茂川流域では、ツルヨシや外来種であるセイタカアワダチソウなどの高茎植物は下流域から継続的に見られる。

魚類については、瀬や淵の他に堰の湛水域がある。瀬にはアユやオイカワ、カワヨシノボリ、シマヨシノボリなどがみられる。また、八家川流域では、メダカ[※]も確認されている。夢前川流域では、堰の湛水域では、イチモンジタナゴ[※]等が見られる。大津茂川水系では、緩やかな流れを好むコイ類、フナ類などが生息しており、湛水区間が多い大津茂川の状況が生息に適していると考えられるが、瀬や淵では、オイカワやヌマムツなどの生息も確認されている。また、オオクチバスやブルーギル、タイリクバラタナゴ、カムルチーなどの外来種も確認されている。

底生動物については、中流域で見られるホンサナエ[※]などのヤゴが生息し、水際植物帯にはゲンジボタル[※]の幼虫などが生息する。

鳥類については、カワウ、ヒヨドリ、ドバト、スズメなどがみられ、河道内には、コガモ、カルガモ、マガモ、サギ類などが多くみられる。また、船場川流域ではカワセミ[※]の飛翔も確認されている。

その他の動物としては、イシガメ、クサガメ、外来種のアカミミガメが広範囲で生息しているとともに、船場川流域では、スッポン[※]も確認されている。また、市川流域の河口に外来種である小動物のヌートリア、両生類のウシガエルが見られる。夢前川流域の下流から中流にかけて外来種である小動物のヌートリアが見られる。

※ 貴重種：「改定：兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック 2003」

「兵庫県の貴重な自然－兵庫県版レッドリスト 2010（植物・植物群落）」

(5) 歴史・文化

【計画地域：北部（朝来市、神河町）】

市川流域の谷筋は、山陽・山陰をつなぐ交通路で、古くから但馬街道として利用されてきた。山陰との接点には、平安時代初期に開坑したと伝えられ、幕府が直轄で管理していた生野銀山が史跡として残っている。明治初頭には、生野銀山から飾磨港に至る市川沿いに、日本初の高速産業道路「銀の馬車道」が建設され、今日の南北物流の基盤を造った。また、朝来市生野町口銀谷地区の市川沿いには、かつての生野銀山の鉱石が運搬されたトロッコ道跡が残っている。また、神河町新野地区には、昭和30年代まで稼働していた水車が現存している。

【計画地域：中部（市川町、福崎町、姫路市北部、加西市）】

夢前川流域に書写に円教寺がある。円教寺は、康保3年(966年)性空上人によって開かれ、多くの信仰を集めて参詣や僧侶の修行の道場として栄え、西の比叡山とも呼ばれる。現在も全国からの参詣者が多く、国指定重要文化財の建造物8棟、仏像8体が所有されている。また流域では、縄文、弥生、古墳時代などの遺跡が見つかっており、流域内には古くから人が暮らしていた様子が伺える。

【計画地域：南部（姫路市南部、高砂市、太子町、たつの市、加古川市）】

西浜川流域、八家川流域の河口の干拓地、埋立地は、播磨で最初に製塩が行われたと伝えられている。江戸時代には入浜式塩田が広がり、昭和の時代まで続いたが、昭和46年に塩田はすべて廃田となった。昭和34年に、大塩町が姫路市に合併されるまで、印南郡大塩町（昭和初期大塩町）であったが、浜街道が大塩町を横断しており、道しるべもあつたことから、浜街道における重要な一地点であったものと思われる。

夢前川流域では1656年姫路城藩主だった榊原忠次が夢前川の堤防工事を行った。それまで御立地先より今宿地先を経て英賀地先へ流れていた夢前川を、横関から青山に流す堤防工事を行い、それまで下流で起きていた災害を防止した。

船場川流域では、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が、流域から多数発掘され、2,000年ほど昔から船場川の流れを利用したコメ作りが行われてきたことが知られている。また船場川の流れをらせん状の濠として利用することで、姫路城の守りを固めていた。江戸時代の船運の名残として、材木町に高瀬舟の避難場所でもあつた船入川や、八代本町に船着き場跡が残っている他、周辺には、船運の目標となった千代田公園の灯籠（常夜灯）や、高瀬舟を繋いだという龍野町の船繋ぎ石も残っている。

野田川流域には、播磨国総社、正法寺、正明寺、亀山本徳寺などの神社仏閣があり、流域近隣には国宝、国指定文化財、かつ世界文化遺産にも指定されている姫路城が存在する。

1-2. 洪水被害の発生状況

計画地域では、昭和 38 年 6 月、昭和 40 年 9 月、昭和 51 年 9 月、平成 2 年 9 月、平成 16 年 8 月、平成 16 年 10 月など、これまで何度も大きな洪水が発生してきた。姫路市では、昭和 40 年 9 月の台風 24 号により、浸水面積 4,000ha、床上浸水 1,424 戸、床下浸水 15,063 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号により、浸水面積 3,253ha、床上浸水 6,891 戸、床下浸水 22,412 戸、平成 2 年 9 月の台風 19 号により、浸水面積 944ha、床上浸水 1,146 戸、床下浸水 7,677 戸の被害が発生した。

近年でも毎年続けて浸水被害が発生している。特に、平成 23 年 9 月に発生した台風 12 号においては、浸水面積約 8,76.8ha、床上浸水 454 戸、床下浸水 1,379 戸の被害が発生した。また、姫路市において、市川の水位上昇に伴い、3 日 18 時、市内の約 4 万 2 千世帯、計約 10 万人に避難勧告が発令された。

平成 24 年 6 月に発生した台風 4 号においても、夢前川や船場川で浸水が生じている。



平成 23 年 9 月 台風 12 号浸水状況写真



船場川
→

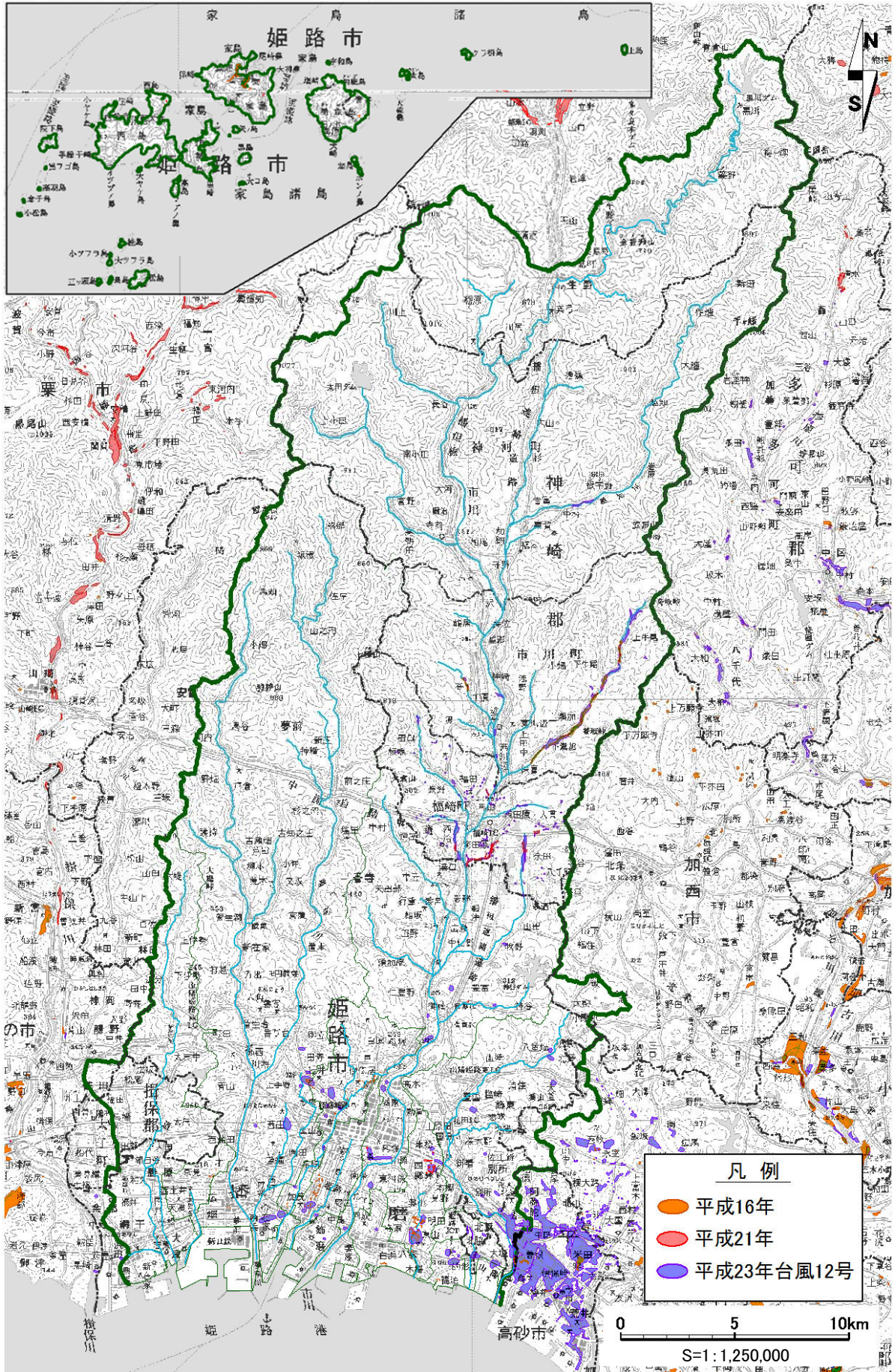
船場川（生矢橋下流左岸）

平成 24 年 6 月 台風 4 号浸水状況写真

近年の洪水による被害発生状況（平成17年～平成23年）

年度	発生年月	異常気象名	水害原因	水系	主な被災河川	水害区域面積（㎡）			被害家屋棟数（棟）					一般資産被害額 （千円）			
						宅地その他	農地	計	床下浸水	床上浸水	半壊	全壊流失	計				
H17年 合計						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
H18	-	その他の異常気象	内水	夢前川	広畑配水路1号	4,800	0	4,800	17	0	0	0	17	15,101			
			合計			4,800	0	4,800	17	0	0	0	17	15,101			
	6.30-7.25	梅雨前線豪雨	内水	市川	犬見川	112	0	112	1	0	0	0	1	1,305			
			内水	八家川	八家川	1,000	0	1,000	5	0	0	0	5	2,380			
H18年 合計						5,912	0	5,912	23	0	0	0	23	18,786			
H19	-	その他の異常気象	内水	船場川	岡町川	96	0	96	1	0	0	0	1	902			
			内水	野田川	細江川	768	0	768	8	0	0	0	8	7,218			
			合計			864	0	864	9	0	0	0	9	8,120			
H19年 合計						864	0	864	9	0	0	0	9	8,120			
H20	-	その他の異常気象	内水	市川	西御着川	192	0	192	2	0	0	0	2	2,082			
			合計			192	0	192	2	0	0	0	2	2,082			
H20	9.2-9.5	豪雨	内水	市川	振古川	2,120	0	2,120	22	0	0	0	4	26,588			
			合計			2,120	0	2,120	22	0	0	0	4	26,588			
H20年 合計						2,312	0	2,312	24	0	0	0	6	28,770			
H21	7.17-30	梅雨前線豪雨	内水	市川	北条川	480	0	480	5	0	0	0	5	5,725			
			無堤部溢水	八家川	西御着川	96	0	96	1	0	0	0	1	966			
			内水	野田川	清水川	480	0	480	2	3	0	0	5	18,083			
			合計			1,056	0	1,056	8	3	0	0	11	24,774			
H21	7.31-8.3	豪雨	内水	市川	北条川	480	0	480	4	1	0	0	5	7,794			
			無堤部溢水	八家川	西御着川	480	0	480	4	1	0	0	5	7,794			
			無堤部溢水	八家川	八家川	768	0	768	8	0	0	0	8	9,514			
H21年 合計						1,728	0	1,728	16	2	0	0	18	25,102			
H21	8.8-11	台風9号	無堤部溢水	市川	小田原川	91	0	91	1	0	0	0	1	498			
			合計			91	0	91	1	0	0	0	1	498			
H21年 合計						2,875	0	2,875	25	5	0	0	30	50,374			
H22	5.22-25	豪雨	内水	市川	恒屋川	192	0	192	2	0	0	0	2	1,880			
			内水	船場川	船場川	192	0	192	2	0	0	0	2	5,193			
			内水	船場川	岡町川	288	0	288	3	0	0	0	3	2,393			
			内水	大津茂川	高田川	96	0	96	1	0	0	0	1	510			
			内水	大津茂川	西船東川	96	0	96	1	0	0	0	1	940			
			内水	八家川	西御着川	288	0	288	3	0	0	0	3	15,257			
			内水	夢前川	辻井川	1,344	0	1,344	14	0	0	0	14	13,191			
			内水	夢前川	青山出屋敷川	384	0	384	4	0	0	0	4	3,768			
			内水	夢前川	青山川	1,440	0	1,440	13	1	0	0	14	31,214			
			H22年 合計						4,320	0	4,320	43	1	0	0	44	74,346
			H23	8.30-9.7	台風12号及び豪雨	内水	市川	市川	22,410	0	22,410	98	27	5	0	130	214,776
						無堤部溢水	市川	岡部川	18,140	159,650	177,790	15	15	0	0	30	31,276,161
無堤部溢水 有堤部浸水 その他	市川	越智川				22,832	17,700	40,532	23	3	0	0	26	279,746			
内水	市川	阿保川・西阿保川				5,664	0	5,664	46	5	0	0	51	77,363			
無堤部浸水	市川	神谷川				1,204	0	1,204	5	2	0	0	7	13,597			
無堤部浸水	市川	河内川				830	9,870	10,700	1	0	0	0	1	1,925,959			
内水	市川	兼田川				1,824	0	1,824	15	4	0	0	19	21,843			
無堤部浸水	市川	御舟川				850	0	850	1	3	0	0	4	11,762			
内水	市川	中島東				1,344	0	1,344	13	0	0	0	13	13,416			
無堤部浸水	市川	日原川				1,340	0	1,340	3	1	0	0	4	10,234			
内水	市川	平田川				1,440	0	1,440	7	8	0	0	15	20,089			
無堤部浸水	市川	無名河川				14,480	0	14,480	27	15	0	0	42	131,991			
その他	市川	犬見川				23	0	23	0	1	0	0	1	528			
その他	市川	小田原川				309	0	309	1	0	0	0	1	2,465			
内水	西浜川	西浜川				15,256	0	15,256	2	1	0	0	3	7,670			
内水	船場川	船場川				576	0	576	4	2	0	0	6	6,510			
内水	"	新在家南川・岡野川				3,072	0	3,072	25	7	0	0	32	47,065			
内水	天川	天川				8,415,942	0	8,415,942	699	189	0	0	888	2,832,808			
内水	"	小原南川				384	0	384	2	2	0	0	4	7,016			
内水	"	大釜川				1,824	0	1,824	6	13	0	0	19	42,687			
内水	"	北山川				1,536	0	1,536	8	8	0	0	16	21,016			
内水	"	北宿川				5,472	0	5,472	35	22	0	0	57	98,205			
内水	"	北野川				672	0	672	7	0	0	0	7	6,464			
内水	八家川	八家川				13,632	0	13,632	108	34	0	0	142	180,190			
内水	"	八家川・西御着川				1,152	0	1,152	5	7	0	0	12	21,539			
内水	夢前川	夢前川				480	0	480	5	0	0	0	5	4,613			
内水	"	御立川				288	0	288	1	2	0	0	3	3,741			
内水	"	今在家排水路				9,888	0	9,888	79	24	0	0	103	122,834			
内水	"	今在家排水路1号				384	0	384	4	0	0	0	4	3,691			
内水	"	水尾川				576	0	576	4	2	0	0	6	6,078			
内水	"	大井川				9,312	0	9,312	65	32	0	0	97	114,555			
内水	"	辻井川				6,720	0	6,720	47	23	0	0	70	89,506			
内水	野田川	細江川				1,820	0	1,820	18	2	0	0	20	24,149			
H23年 合計						8,581,676	187,220	8,768,896	1,379	454	5	0	1,838	37,640,267			
H23年	9.15-23	台風15号及び豪雨				内水	市川	阿成川	384	0	384	4	0	0	0	4	3,692
						内水	市川	阿保川	1,824	0	1,824	6	6	0	0	12	39,850
						内水	市川	妻麻川	1,536	0	1,536	3	5	0	0	8	37,489
						内水	八家川	八家川	2,016	0	2,016	10	4	0	0	14	43,026
						内水	八家川	宇佐崎排水路6号	576	0	576	5	1	0	0	6	6,026
						内水	八家川	八家川・西御着川	1,440	0	1,440	4	7	0	0	11	28,122
H23年 合計						7,776	0	7,776	32	23	0	0	55	158,205			
H23年 合計						8,589,452	187,220	8,776,672	1,411	477	5	0	1,893	37,798,472			

出典：水害統計



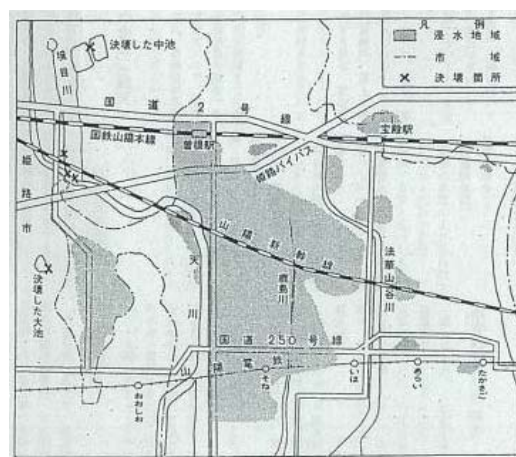
出典：兵庫県HP

近年洪水被害による実績浸水区域図

【天川水系】

昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、天川左岸 2 カ所の決壊、天川へ流れ込む境目川の氾濫、中池の決壊などによって膨大な量の水が天川の左岸沿いに南下し、曾根駅の周辺や曾根町や伊保町などで大きな被害が発生した。

近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、高砂市の天川流域に係る地区で床上浸水家屋 218 棟、床下浸水家屋 1,173 棟という、大きな被害が発生した。台風 12 号では、台風による集中豪雨と満潮が重なった影響で、市街地で浸水被害が発生した。



昭和 51 年 9 月の台風 17 号の
浸水による被災地域

出典：高砂市市政だより 災害特集号

昭和 51 年 9 月の台風 17 号の被害状況

	家屋 全壊	家屋 半壊	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
高砂町	0	1	8	97	379
荒井町	0	0	1	137	500
伊保町	0	0	140	704	3,078
曾根町	1	0	916	580	5,785
米田町	0	0	1	22	81
阿弥陀町	0	0	349	155	1,813
北浜町	0	1	169	329	1,893
計	1	2	1,584	2,024	13,529

出典：高砂市市政だより 災害特集号

平成 23 年 9 月の台風 12 号の被害状況

地区名*	家屋 床上 浸水	家屋 床下 浸水	合計
阿弥陀地区	100	485	641
北浜地区	0	2	2
中筋地区	22	133	186
曾根地区	96	553	716
合計	218	1,173	1,391

※天川流域に係る地区のみを抽出

出典：平成23年台風12号による災害対応検証報告書
(高砂市平成23年台風12号災害対応検証委員会)

【西浜川水系】

西浜川では、昭和 51 年 9 月洪水で流域の大部分が浸水した。近年では、平成 23 年 9 月の台風 12 号により、浸水面積 1.5ha、浸水家屋 3 棟の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

洪水年月日	異常気象名	浸水面積 (m ²)			浸水家屋 (棟)			備考
		宅地 その他	農地	合計	床下 浸水	床上 浸水	合計	
H23. 8. 30~9. 7	台風 12 号及び豪雨	15,256	0	15,256	2	1	3	

【八家川水系】

八家川流域では、埋め立てられた低平地を中心に地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすい。

昭和 40 年 9 月の洪水では、床上浸水 70 戸、床下浸水 200 戸、浸水面積 101ha の被害が発生している。また、平成 2 年 9 月の洪水では床上浸水 92 戸、床下浸水 296 戸、浸水面積 140ha の被害を記録している。

近年では、平成 16 年 8 月の台風 16 号により、床上浸水 32 戸、床下浸水 169 戸、浸水面積 12.7ha の被害が発生した。その他、平成 16 年 9 月の台風 18 号により、床上浸水 1 戸、床下浸水 28 戸、台風 21 号により床下浸水 3 戸の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S40.9.10~15	台風 23 号	101.0	70	200	270	
H2.9.17~20	台風 19 号	140.0	92	296	388	
H16.8.30~31	台風 16 号	12.7	32	169	201	
H16.9.7	台風 18 号	2.5	1	28	29	
H16.9.28~30	台風 21 号	—	0	3	3	

出典：八家川水系河川整備基本方針



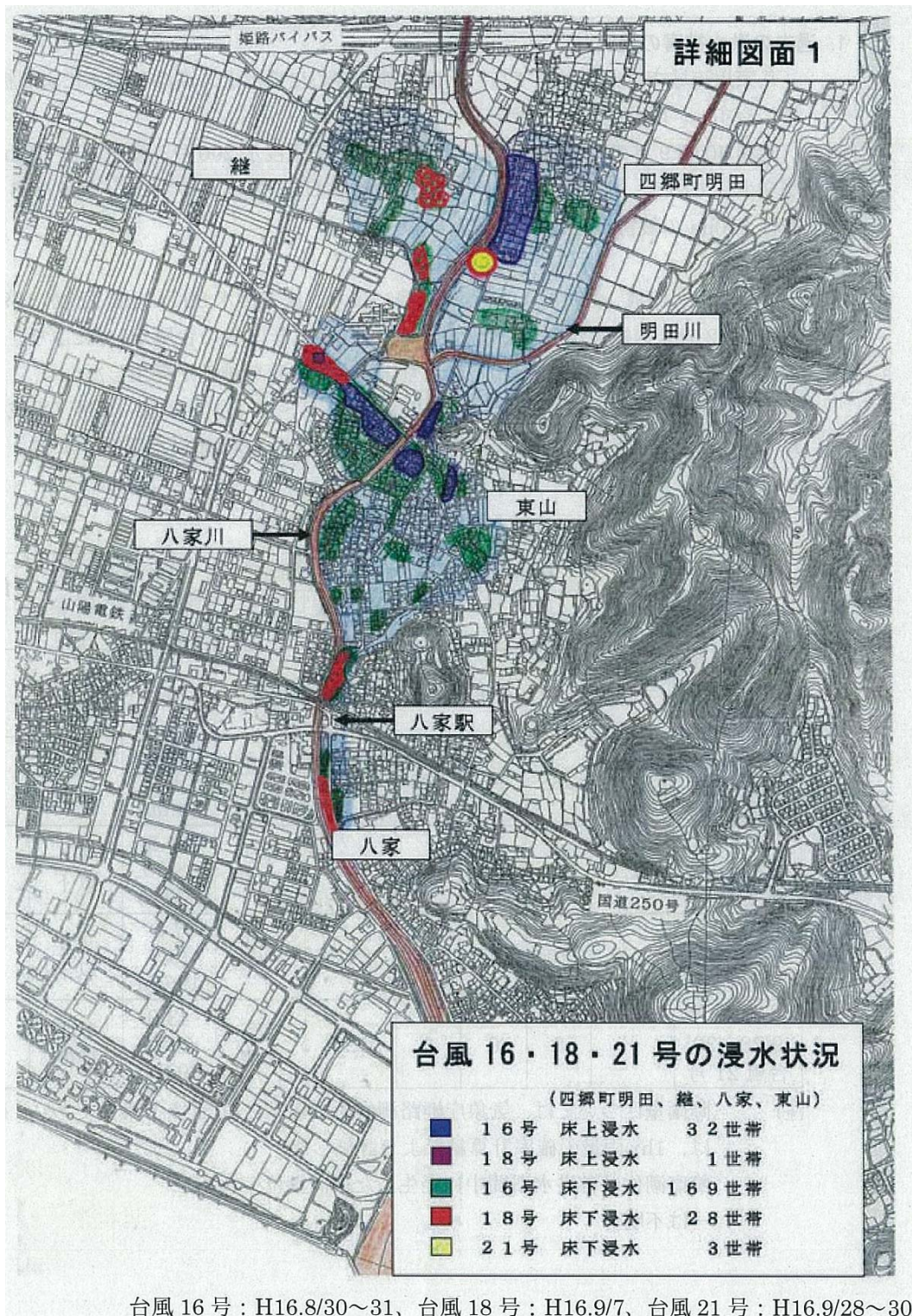
平成 16 年 8 月台風 16 号 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所 河川砂防課



平成 16 年 9 月台風 18 号 浸水状況写真

出典：姫路土木事務所 河川砂防課



台風 16 号 : H16.8/30~31、台風 18 号 : H16.9/7、台風 21 号 : H16.9/28~30

出典 : 姫路市

実績浸水図

【市川水系】

市川水系で大きな被害を起こした洪水は、昭和 13 年 7 月洪水、昭和 38 年 6 月洪水、昭和 40 年 9 月洪水、平成 2 年 9 月洪水である。

阪神大水害を起こした昭和 13 年 7 月では、市川の濁流によって山陽電鉄妻鹿鉄橋が水没・湾曲した。昭和 38 年 6 月洪水では、市川の堤防が決壊し、浸水面積 3,020ha、浸水家屋 2,179 棟の被害が発生した。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S13.7	集中豪雨	—	—	—	—	山陽電鉄妻鹿鉄橋が市川の濁流によって水没・湾曲
S38.6	梅雨前線	3,020	841	1,338	2,179	市川堤防決壊、山陽電鉄軌道敷水没
S39.9	台風 20 号	10	—	—	38	
S40.9	台風 23, 24 号	535	—	—	896	
S51.9	台風 17 号	—	—	—	402	
H2.9	台風 19 号	40	100	1,074	1,174	
H16.8	台風 19 号	0.18	—	—	0	
H16.10	台風 23 号	0.05	—	—	2	

注) 浸水面積、浸水家屋数、『水害統計』(国土交通省河川局)による。

出典：市川水系河川整備計画



昭和 38 年 6 月の浸水状況【姫路市妻鹿地区】

出典：昭和のあゆみ 妻鹿

【野田川水系】

野田川水系周辺は、平坦な地形に加え、特に、下流部では地盤が低いため水はけが悪く、洪水や高潮による被害を受けやすい。昭和 20 年代、30 年代には毎年のように浸水被害を受けた。近年では、大きな洪水被害が発生していない。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋(棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S26. 7. 2	ケイト台風	1,502	17	2,491	2,508	家屋全壊5戸、田畑流出99ha、小舟流出5隻
S26. 10. 15	ルース台風	—	—	—	—	負傷者1名、家屋全壊17戸、家屋半壊26戸、橋の被害2件
S27. 7. 2	梅雨	—	—	1,087	1,087	堤防決壊11件、道路崩落3件、山崩れ崖崩れ3件
S29. 6. 7	台風2号	762.1	16	2,391	2,407	堤防決壊8件、橋の流出3件、小舟流出5隻
S29. 9. 26	台風15号	470	69	167	236	死者1名、負傷者5名、家屋全壊16戸、堤防決壊24件
S34. 9. 26	伊勢湾台風	—	6	—	6	家屋全壊4戸、家屋半壊16戸、家屋浸水20戸(非住家)
S35. 8. 29	台風16号	—	6	370	376	家屋全壊4戸、家屋半壊26戸、道路決壊2カ所、堤防決壊9カ所
S36. 9. 16	第二室戸台風	203	82	1,793	1,875	堤防決壊5カ所、溢水9カ所、崖崩れ2カ所
S38. 6. 4	梅雨	—	400	1,115	1,515	家屋倒壊1戸、家屋半壊3戸、土砂流入3戸
S40. 9. 10	台風23号	520	729	1,969	2,698	死者6名、重傷者14名、家屋全壊29戸、家屋半壊99戸、堤防決壊36カ所、道路損壊17カ所、橋の流出2件
S40. 9. 13~ 9. 17	台風24号	4000	1,424	15,063	16,487	死者2名、行方不明者1名、家屋全壊流出11戸、家屋半壊28戸、ため池決壊7カ所、崖崩れ30カ所、河川欠損19カ所
S49. 7. 7	台風8号	700	53	1,269	1,322	橋流出1件、堤防決壊1カ所、山・崖崩れ6カ所
S51. 9. 8~ 9. 13	台風17号	3,253	6,891	22,412	29,303	死者6名、負傷者4名、家屋全壊7戸、家屋半壊63戸、橋流出12件、道路決壊128カ所、山・崖崩れ241カ所
S57. 8. 8	台風10号	—	408	2,337	2,745	崖崩れ6カ所、堤防溢水2カ所
S58. 9. 27	台風10号	—	—	207	207	山崩れ1カ所、堤防溢水1カ所
S62. 10. 17	台風19号	700	53	1,259	1,312	橋流出1件、堤防決壊1カ所、山・崖崩れ6カ所
H2. 9. 12~ 9. 20	梅雨前線・台風19号	944	1,146	7,667	8,813	死者1名、家屋半壊3戸、橋流出など3件、堤防浸食など30カ所、山・崖崩れ46カ所、道路決壊115カ所
H3. 9. 27	台風19号	—	—	14	14	家屋破壊21戸、停電戸数36,000戸、電話不通5,000戸

注)：浸水面積、浸水家屋は姫路市全域での値を記載

【船場川水系】

船場川流域は、市川の氾濫原であり、地形上、高潮や洪水による被害が発生しやすく、昭和 51 年 9 月の台風 17 号、平成 2 年 9 月の台風 19 号などでは浸水被害が発生している。近年では平成 16 年 10 月の台風 23 号により浸水面積約 30ha、浸水家屋 179 戸の被害が発生している。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (棟)			備考
			床上浸水	床下浸水	計	
S38. 6. 4	梅雨前線	—	400	1, 115	1, 515	
S40. 9. 9	台風 23 号	520	729	1, 969	2, 698	
S40. 9. 14	台風 24 号	4, 000	1, 424	15, 063	16, 487	
S51. 9. 10	台風 17 号	3, 253	6, 891	22, 412	29, 303	
S62. 10. 18	台風 19 号	700	53	1, 269	1, 322	
H2. 9. 19	台風 19 号	944	1, 146	7, 667	8, 813	
H16. 10. 19*)	台風 23 号	30	12	167	179	

注)：浸水戸数・面積は姫路市全域での値を記載

*)：船場川流域のみ浸水が発生したため、浸水戸数、面積は船場川流域のみの値である

出典：船場川水系河川整備計画



出典：船場川水系河川整備計画

平成 16 年 10 月台風 23 号による浸水範囲



出典：自治会から提供資料

平成 24 年屈曲部からの越水状況

【夢前川水系】

夢前川流域で大きな被害を起こした洪水は昭和 40 年洪水、昭和 51 年洪水である。

夢前川の流域は、昭和 40 年 9 月の台風 24 号では浸水面積 1,823ha、浸水家屋 6,346 戸、昭和 51 年 9 月の台風 17 号では、浸水面積 720ha、浸水家屋 6,575 戸の被害が発生している。また、平成に入ってから、平成 2 年 9 月の台風 19 号による出水で、浸水面積 121ha、浸水家屋 2,454 戸の被害が発生している。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		農地	宅地 その他	計	床下 浸水	床上 浸水	計	
S39. 8. 24	台風第 14 号	20		20	53	2	55	
S40. 9. 14~15	台風第 24 号	1,503	320	1,823	5,114	1,232	6,346	
S51. 9. 7~14	台風第 17 号	312	408	720	5,734	841	6,575	
S55. 8. 28	豪雨	0	8	8	301	12	313	
S62. 10. 15~18	台風第 19 号	0	4	4	173	13	186	
H2. 9. 11~20	台風第 19 号	73	48.1	121.1	2,355	99	2,454	
H4. 8. 17~20	台風第 11 号	4	0.6	4.6	30	0	30	
H9. 7. 25~29	台風第 9 号	0	178	178	37	2	39	
H16. 10. 18~22	台風第 23 号	0	66	66	34	2	36	

出典：水害統計

【汐入川水系】

汐入川流域では、近年大きな洪水被害が発生していない。

【大津茂川水系】

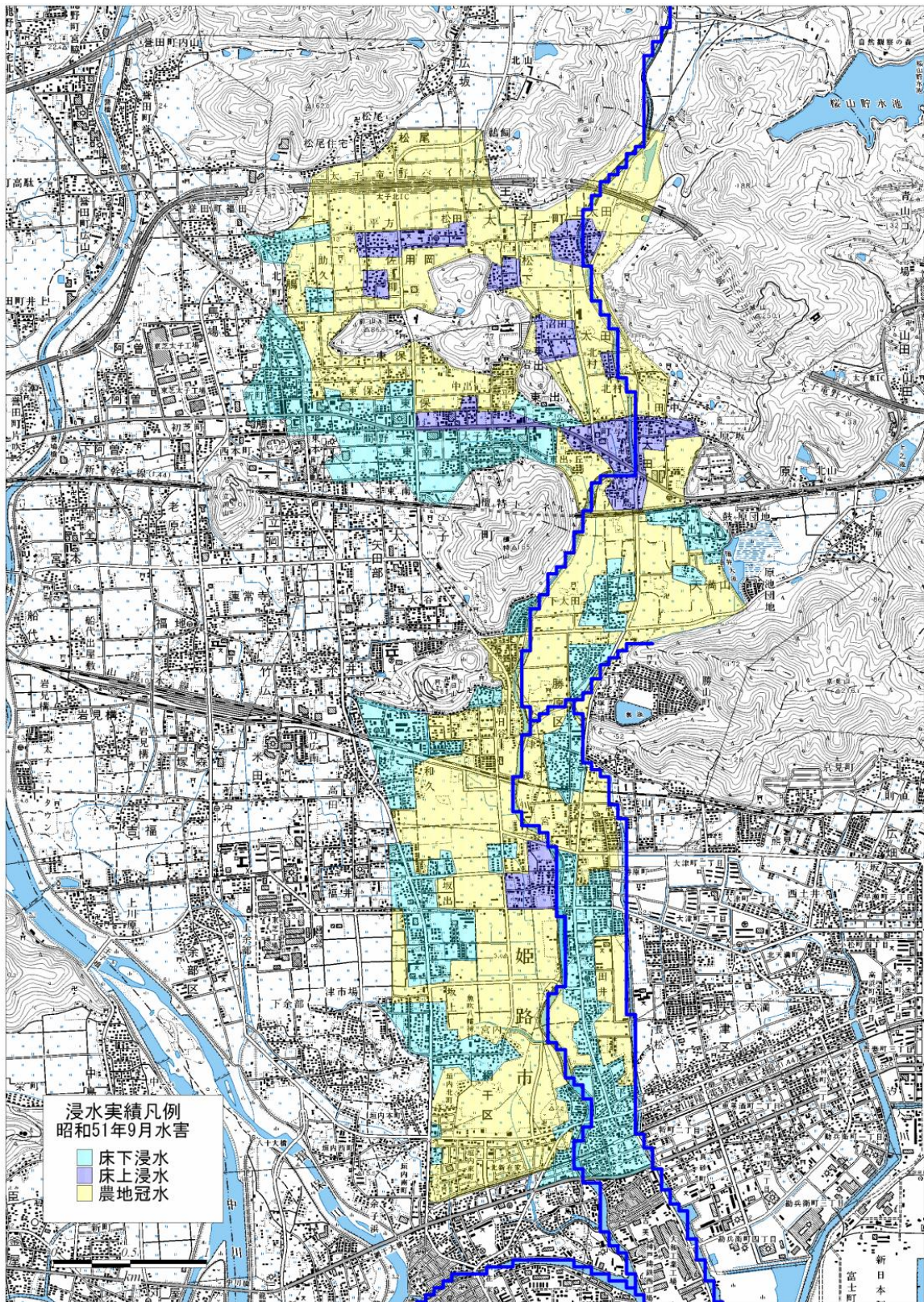
大津茂川水系で被害の大きかった洪水被害は、昭和 49 年 7 月の台風 8 号、昭和 51 年 9 月の台風 17 号の 2 洪水である。

上記洪水を契機に進められてきた河川改修の効果により、最近では目立った被害はほとんど見られない。

主要洪水の被害概要

年月日	異常気象名	浸水面積 (ha)			浸水家屋 (棟)			備考
		田	畑	計	床上浸水	床下浸水	計	
S46. 8. 30	台風 23 号	170	141	10	100	559	659	
S47. 9. 6	熱帯低気圧	379	305	15	450	1,513	1,963	
S49. 7. 7	台風 8 号	250	227	6	271	2,030	2,301	
S51. 9. 10	台風 17 号	350	147	8	1,055	1,565	2,620	

出典：大津茂川激甚災害対策特別緊急事業全体計画調書



※当時の宮田地点、丁地点は不明であるため、宮田橋と丁大橋を示した。

出典：大津茂川水系大津茂川浸水想定区域図作成業務報告書（平成17年度）

昭和 51 年 9 月洪水実績浸水図